

# 施策評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	文化芸術の振興を図る		
主管部局	教育委員会 生涯学習課	関連部局	体育振興課

## めざす暮らしの姿

市民一人ひとりがライフステージに応じて自主的・自発的に学習活動を行い、心豊かで充実した生活を送っている姿をめざす。

## 基本方針

市民が文化芸術や市内にある貴重な文化財に触れる機会、文化活動に参加し個性・創造性を伸ばせる機会を提供します。

## 施策の方針

文化会館で多様なイベントを開催し、市民に文化芸術に触れる機会を提供します。また、市民の自主的な文化芸術活動を支援するとともに、文化団体及び市民グループの育成を図ります。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			4.39	3.44	3.08	3.08
会計年度任用職員数			2.38	3.09	2.08	2.08
人件費計			33,144,535	30,841,424	26,608,149	26,608,149
事業費計			88,328,256	107,021,000	96,088,000	109,088,000
フルコスト			121,472,791	137,862,424	122,696,149	135,696,149

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金			5,000,000	0	0
	県支出金				0	0
	市債				0	0
	その他			10,256,700	12,070,000	12,070,000
一般財源1			111,216,091	120,792,424	110,626,149	123,626,149
一般財源2			78,071,556	89,951,000	84,018,000	97,018,000

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	文化協会会員数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値	1,200	1,200	1,200	1,200		
単年度実績値	1,108	1,110	1,070			
単年度達成率	92.33%	92.5%	89.16%	-	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	文化協会会員数
前年度との比較	↓：低下
所見	文化協会登録団体数は増加している。全体の会員数としては、横ばいである。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価 担当者所見	上位責任者の評価 方向性及び所見	総合評価
文化振興補助金事業	A: 拡大	B: 現状のまま継続	A
	事業の効果もあり、加入団体数は増えている。しかし、各団体の会員数が減少傾向となっているため、今後も事業を拡大できるよう努めていく必要がある。	引き続き、市民の自主的な文化活動を支援するために、相生市文化協会への運営補助を行い、団体の安定的な活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により個人及びグループの発表の機会の充実を支援する。	
スポーツ・文化芸術顕彰事業	B: 現状のまま継続	B: 現状のまま継続	A
	今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。	引き続き、個人や団体の優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の文化芸術活動への関心を高める。	
文化振興事業	C: 改善・見直しの上で継続	C: 改善・見直しの上で継続	A
	現状の事業の内容充実を図り、参加意欲を高め、より参加者や来場者にとって魅力のある事業とするとともに、市民に対して情報提供を行っていく。	市民の創造性や豊かな感性をを育むことを目的に文化祭及び美術展の開催する。文化の担い手である市民の、多種多様な文化芸術活動の活性化、文化意識の向上のためには発表の場の提供等の支援は不可欠である。	
相生市文化会館管理運営事業	B: 現状のまま継続	B: 現状のまま継続	A
	コロナ禍に対応した会館運営を継続していくとともに、中長期修繕計画に基づいた会館設備の更新を行うことで、利用者にとって安全・安心な会館を目指していく。	鑑賞と発表の両面から幅広い世代を対象に自主事業を行い、市民が文化芸術に触れる機会を提供する。また、修繕計画に基づく計画的な施設の維持修繕と、市民ニーズに応じた機能の充実を図る。	
文化財事業	A: 拡大	A: 拡大	A
	特別展や歴史講座を開催し、市民がふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。	学芸員の専門知識を活かし、市内に残された豊かな歴史文化遺産の適切な整理・保存・活用、市指定文化財の登録に取り組む。	
資料館管理事業	A: 拡大	B: 現状のまま継続	A
	施設の計画的な維持修繕を行うとともに展示資料の適切な保存ができる環境を整えることで、郷土の歴史文化の啓発の充実を図る。	施設の計画的な維持修繕を行うとともに、相生市の歴史・美術・文芸作品等に関する資料の収集、展示に努める。	
スポーツ・文化芸術顕彰事業	B: 現状のまま継続	B: 現状のまま継続	A
	功績に相応した顕彰を贈呈していく。	功績に相応した顕彰を贈呈していく。競技スポーツに取り組む人の努力にこたえる場がなくなる。	

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
文化協会会員数	89.16%	↓ : 低下	89.16%
利用者数	58.45%	↑ : 向上	51.95%
自主事業来場者数	36.17%	↓ : 低下	36.17%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	61.26%	低	C: 努力を要する
	達成状況の原因分析、説明等 新型コロナウイルスの影響で利用のキャンセルが相次いだため。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	いいえ 新型コロナウイルスの影響で利用人員、自主事業の来場者数が伸びなかった。
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	B: おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	新型コロナウイルスの拡大状況も少しずつ緩和され始めているので、国や県、市の対処方針を鑑みながら、事業の拡大をいかに図っていくかが課題である。
今年度の成果等	利用状況については、利用人員及び自主事業来場者数ともに令和2年度より増加しているが、新型コロナウイルス拡大前の水準には達していない。自主事業については、企画委員及びボランティアスタッフを中心に様々な自主事業を計画していたが、1事業が中止、2事業が次年度に延期となった。
第三者評価委員会意見	

# 施策評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	人権啓発活動を推進する		
主管部局	教育委員会 人権教育推進室	関連部局	

## めざす暮らしの姿

市民の生活スタイルの多様化に伴い、市民の学習ニーズは多様化しています。めざす暮らしの姿として、市民一人ひとりが自主的・自発的に活動を行い、心豊かで充実した生活を送っていくためには、ライフステージに応じた学習機会の一層の充実と多様な文化芸術及び郷土の歴史文化に触れる機会を充実させていきます。

## 基本方針

人権学習の場の整備や学習内容の充実を図り、現代の課題に応じた学習プログラムを提供します。また、学習の成果が発揮できるよう、生涯にわたり自らを高めることができる環境づくりに努めます。

## 施策の方針

市民人権学習、人権の集いの実施、啓発紙「ひとみ」の発行など、市民一人ひとりが人権意識を高め、人権問題に対する正しい理解と認識を深める取り組みの充実を図ります。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.85	0.65	0.0	0.0
会計年度任用職員数			0.9	0.9	0.0	0.0
人件費計			7,035,968	6,290,629	0	0
事業費計			4,904,251	6,507,000	0	0
フルコスト			11,940,219	12,797,629	0	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金				0	0
	県支出金		162,000	542,000	0	0
	市債				0	0
	その他				0	0
一般財源1			11,778,219	12,255,629	0	0
一般財源2			4,742,251	5,965,000	0	0

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	【質】市民人権学習会への参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値			500	500		
単年度実績値			364			
単年度達成率	-	-	72.8%	-	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【質】市民人権学習会への参加者数
前年度との比較	
所見	コロナ禍の影響の大きかった前年度よりも、参加団体も参加人数も増加することができた。



評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名

事務事業名	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
【質】市民人権学習会への参加	72.8%		14.56%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	72.8%	低	B: おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等		
人権問題が多様化・複雑化する中で、新たな人権問題や身近な人権問題について市民が学ぶ機会を提供することは行政の責務であり、今後も関係課室と連携し、啓発活動を推進していく。			

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい コロナウイルス感染防止策を講じた市民人権学習会の実施、コロナ差別についての啓発資料の臨時発行など、市民の人権意識の高揚が着実に行えている。社会情勢を注視しつつ取組を継続していく。
構成事務事業に課題はないか	ある 市民にとって身近な人権問題、コロナ差別など時勢に応じたテーマを取り上げることにより事業の有効性を高めている。さらに関係課室との連携方策も求めていく必要がある。
施策の総合評価	B: おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	人権問題が多様化・複雑化する中で、市民向けの学習会、啓発事業、情報誌の発行は適切な手法と言える。年間を通じての市民人権学習会実施、推進強調月間や人権週間等に合わせたイベントの開催、年4回にわたる情報誌の発行等、時期・対象を考慮した効率的な方法を選択できている。
今年度の成果等	コロナ禍だからこそ人権についての学びが必要であり、これまで継続して取り組んできたことで、市民人権学習会が学びの場として認知されている。今後も人権が尊重されたまちづくりに向け、社会状況とニーズに沿った情報や生涯にわたって人権を学ぶ場の提供していく。
第三者評価委員会意見	

# 施策評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	生涯学習環境をつくる		
主管部局	教育委員会 生涯学習課	関連部局	

## めざす暮らしの姿

市民一人ひとりが自主的・自発的に学習活動を行い、心豊かで充実した生活を送っている姿をめざす。

## 基本方針

市民が生涯にわたって学習が行えるようライフステージに応じた学習内容を提供します。また、市民が安心して学ぶことのできるよう、生涯学習施設の適切な修繕などを行うことにより、施設の長寿命化を図ります。

## 施策の方針

生涯学習の場の整備や学習内容の充実を図り、ライフステージに応じた学習プログラムを提供します。また、学習の成果が発揮できるよう、生涯にわたり自らを高めることができる環境づくりに努めます。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			1.24	1.19	0.22	0.22
会計年度任用職員数			11.3	11.36	0.4	0.4
人件費計			24,328,189	25,742,077	2,268,842	2,268,842
事業費計			95,805,502	99,009,000	1,303,000	1,303,000
フルコスト			120,133,691	124,751,077	3,571,842	3,571,842

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金			1,000,000	0	0
	県支出金				0	0
	市債				0	0
	その他			2,894,800	7,047,000	1,303,000
一般財源1			117,238,891	116,704,077	2,268,842	2,268,842
一般財源2			92,910,702	90,962,000	0	0

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	公民館等施設利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値	60,000	60,000	60,000			
単年度実績値	53,383	37,395	41,081			
単年度達成率	88.97%	62.32%	68.46%	-	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	公民館等施設利用者数
前年度との比較	↑：向上
所見	コロナ禍で減少していた利用者数が回復傾向にあるため、増加しているが、実施できなかった講座もあるため、コロナ前の水準までは回復できていない。





評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
社会教育事業	
公民館管理事業	
多目的研修センター管理事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
公民館等施設利用者数	68.46%	↑: 向上	68.46%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	68.46%	低	C: 努力を要する
	達成状況の原因分析、説明等		
	新型コロナウイルスの影響で利用者数が減少している。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	いいえ 新型コロナウイルスの影響で人数が減少したままである。
構成事務事業に課題はないか	ない
施策の総合評価	B: おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	令和2年度に比べ利用者数は増加傾向にあるが、コロナ以前の水準までは回復していない。事業の拡大をいかに図っていくかが課題である。
今年度の成果等	閉館期間があったり、利用者数の制限をかけた中에서도令和2年度よりも事業を実施できる回数が増えた。今後はコロナ以前の水準に戻していくため、講座や広報の工夫をしていく必要がある。
第三者評価委員会意見	

# 施策評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち		
施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実		
取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		
主管部局	教育委員会 体育振興課	関連部局	

## めざす暮らしの姿

社会教育環境の充実

## 基本方針

スポーツ施設を活用し、誰もがライフステージに合わせてスポーツを生活に取り入れ、健康で文化的な生活が送れるようスポーツ活動の推進を図ります。

## 施策の方針

スポーツ施設について、施設の計画的な整備改修と管理運営に努めます。  
誰もがライフステージに合わせてスポーツを楽しめるよう、スポーツ教室や大会などイベントを実施します。また、体育協会や地域スポーツクラブなどの活動を支援します。  
市民自らが主人公としてスポーツ活動を推進していくため、地域スポーツの担い手・リーダーの発掘と育成に努めます。

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			3.74	3.74	3.19	3.19
会計年度任用職員数			0.77	0.77	0.75	0.75
人件費計			26,466,040	29,738,335	25,501,611	25,501,611
事業費計			64,617,497	104,441,000	100,889,000	100,889,000
フルコスト			91,083,537	134,179,335	126,390,611	126,390,611

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金				0	0
	県支出金				0	0
	市債				7,300,000	7,300,000
	その他			4,731,610	5,052,000	5,052,000
一般財源1			86,351,927	121,827,335	114,038,611	114,038,611
一般財源2			59,885,887	92,089,000	88,537,000	88,537,000

## 3. 成果指標

### (1) 成果指標

指標名	スポーツ施設利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R元	R2	R3	R4	R5	R6
単年度目標値	285,000	274,400	221,400	221,400	221,400	221,400
単年度実績値	263,370	167,455	184,927			
単年度達成率	92.41%	61.02%	83.52%	-	-	-

### (2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	スポーツ施設利用者数
前年度との比較	↑：向上
所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、休館休場等があったが、感染症対策を十分に行い事業等を実施し、結果として施設利用者が増加した。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	
市民体育館管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。 代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。	
市民プール管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	指定管理者と連携を取りながら今後も適正管理に努めていく。	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。 学校授業としての利用ができなくなる。	
市民グラウンド管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。 代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。	
温水プール管理運営事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	B
	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。 代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。	
社会体育振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。 事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	
ジュニアスポーツ振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。 事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	
レクリエーションスポーツ振興事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。 事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。	
スポーツ教室事業	B:現状のまま継続	B:現状のまま継続	A
	スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人との触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる機会が生まれる。	当事業は費用対効果に優れた事業である。 スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。	

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
社会体育費事務経費	
相生市スポーツ推進委員事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
スポーツ施設利用者数	83.52%	↑:向上	
スポーツ教室参加者数	85.35%	↑:向上	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	84.44%	中	B:おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等		
新型コロナウイルス感染症により予定通りの事業は出来なかった。今後は、新型コロナの動向を注視しつつ事業を展開し、子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツライフを楽しめる環境を作る。			

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 新型コロナウイルス感染症により、中止、規模縮小となった事業が多くあったが、概ね予定通り進んだ。
構成事務事業に課題はないか	ある 特に問題は無い。
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	利用者頻度が高く、老朽化が進んでいる施設については、整備改修計画により施設の修繕を行う必要がある。 レクリエーションスポーツが市民にとって生きがいとなるよう、更に普及推進に努める。
今年度の成果等	施設の管理運営については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館や休場、開館等の時間短縮を余儀なくされた期間があったものの、最大限の感染症対策を講じ、利用者の安全確保に努めた。 屋内スポーツの拠点である市民体育館では、施設を安全かつ快適に利用できるよう検温システムの導入や温水器設備の更新を行った。 温水プール及び西部市民プールでは、指定管理者の工夫や経営努力により利用者数の維持に努めた。
第三者評価委員会意見	

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201010001	事務事業名	文化振興補助金事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。		
対象	市内を活動の基盤とする芸術文化団体		
目的	市民の芸術文化活動を支援することにより、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図ることを目的としている。		
事務事業類型	施設等整備事業(ハード事業)		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	法律・政令・省令		
	文化芸術振興基本法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.09	0.09	0.0	0.0
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			610,790	688,488	0	0
事業費計			622,000	940,000	0	0
フルコスト			1,232,790	1,628,488	0	0

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
フルコスト-特定財源			1,232,790	1,628,488	0	0
事業費計-特定財源			622,000	940,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】文化協会会員数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
単年度実績値	1,110	1,110	1,070	1,089		
前年比	-	100%	96.39%	101.77%	-	-
単年度達成率	92.5%	92.5%	89.16%	90.75%	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	933.3333	482.5	1,027.325	1,357.0733	0	0
単年度実績値	1,009.009	521.6216	1,152.1402	1,495.3976		

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民のさらなる文化意識の向上には、市の支援が不可欠である。	あり
有効性	A: 有効性が高い	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる。高齢化等により、各団体の会員数が減少傾向にある。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	補助金の適正化を検討していく。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各団体の活動に対して検証と見直しを訴え、成果の向上を促すとともに、新規団体の入会を推進する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	文化協会加入団体が増え、組織として拡大をするよう努めている。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	A: 拡大
所見	事業の効果もあり、加入団体数は増えている。しかし、各団体の会員数が減少傾向となっているため、今後も事業を拡大できるよう努めていく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	相生市の文化芸術が失われる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、市民の自主的な文化活動を支援するために、相生市文化協会への運営補助を行い、団体の安定的な活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により個人及びグループの発表の機会の充実を支援する。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201010002	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。		
対象	権威ある大会等において成績が顕著な者		
目的	市民に顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となり、市民の文化活動レベルの向上が期待される。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱		
	文化振興芸術基本法 相生市文化芸術顕彰に関する要綱		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.03	0.03	0.0	0.0
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			203,596	229,496	0	0
事業費計			76,000	216,000	0	0
フルコスト			279,596	445,496	0	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
フルコストー特定財源			279,596	445,496	0	0
事業費計ー特定財源			76,000	216,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】受賞者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	2	4	4	4	4	4
単年度実績値	3	1				
前年比	-	33.33%	-	-	-	-
単年度達成率	150%	25%	-	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	52,800	4,300	69,899	111,374	0	0
単年度実績値	35,200	17,200				

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民のさらなる文化意識の向上には、市からの顕彰は必要である。	あり
有効性	B: 比較的有効である	文化活動レベルの向上が期待される。顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	情報把握の効率性、正確性を高めていく。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各文化団体などとの情報共有に努める。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	文化協会などへの周知をはじめ、各種文化芸術団体と連携を図る。	あり

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化芸術活動が停滞してしまう。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	引き続き、個人や団体の優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の文化芸術活動への関心を高める。



# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201010003	事務事業名	文化振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	文化祭・美術展を実施する。		
対象	市民		
目的	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われ、こころ豊かな生活が送れるようにする。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	法律・政令・省令 文化芸術振興基本法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.82	0.82	0.82	0.82
会計年度任用職員数			0.08	0.09	0.08	0.08
人件費計			5,677,632	6,404,719	6,390,073	6,390,073
事業費計			2,494,717	2,541,000	2,541,000	2,541,000
フルコスト			8,172,349	8,945,719	8,931,073	8,931,073

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			0	0	0	0
フルコストー特定財源			8,172,349	8,945,719	8,931,073	8,931,073
事業費計ー特定財源			2,494,717	2,541,000	2,541,000	2,541,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質・量】文化祭及び美術展の出演出展者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			2,200	2,200	2,200	2,200
単年度実績値			2,191			
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	99.59%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	出演者及び出展者数あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			3,714.7041	4,066.2359	4,059.5786	4,059.5786
単年度実績値			3,729.963			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	美術展等芸術文化に触れる機会を提供し、市民が自発的に芸術文化活動を行うことにより、こころ豊かな生活が送れる。	あり
有効性	B: 比較的有効である	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。文化の発展を促進するために、市内の参加率向上をめざす。文化会館の持つ機能を有効に活用し、より質の高い事業となるように文化会館管理係とも協力していく。	あり
効率性	A: 効率性が高い	委託事業とし、専門的な意見を取り入れることで効率的な運営を行えた。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	市民のニーズを聞きながら、より多くの市民に参加していただけるよう見直しを行う。	あり
透明性	A: 透明性が高い	広報等を通じて、広く市民に参加していただけるよう情報提供を行っている。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	現状の事業の内容充実を図り、参加意欲を高め、より参加者や来場者にとって魅力のある事業とするとともに、市民に対して情報提供を行っていく。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化芸術活動が停滞してしまう。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	市民の創造性や豊かな感性をを育むことを目的に文化祭及び美術展の開催する。文化の担い手である市民の、多種多様な文化芸術活動の活性化、文化意識の向上のためには発表の場の提供等の支援は不可欠である。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201010004	事務事業名	相生市文化会館管理運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始	令和3年度	終了年度	なし
実施の概要	文化会館の管理運営、その他条例で定められた管理運営事業を行い、文化芸術活動の提供を行う。		
対象	全市民		
目的	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図る場を提供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	条例・規則・要綱		
	相生市文化会館の設置及び管理に関する条例		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			2.06	2.06	2.0	2.0
会計年度任用職員数			1.56	1.5	2.0	2.0
人件費計			16,177,125	17,955,761	18,229,108	18,229,108
事業費計			80,330,734	91,190,000	93,359,000	106,359,000
フルコスト			96,507,859	109,145,761	111,588,108	124,588,108

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他			10,256,700	12,070,000	12,070,000
フルコストー特定財源			86,251,159	97,075,761	99,518,108	112,518,108
事業費計ー特定財源			70,074,034	79,120,000	81,289,000	94,289,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	180,000	160,000	150,000	150,000	150,000	150,000
単年度実績値	152,991	37,270	93,522			
前年比	-	24.36%	250.93%	-	-	-
単年度達成率	84.99%	23.29%	62.34%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	308.5185	531.966	643.3857	727.6384	743.9207	830.5874
単年度実績値	362.9843	2,283.7285	1,031.9268			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民の交流と文化の向上を図る場所として役割を果たしている。コロナ禍の状況に応じて利用の制限をかけるなど、適切な施設運営を行った。	あり
有効性	B: 比較的有効である	利用者数については、コロナ前には戻っていないが、市の事業の多くが実施されたことにより、前年度に比べて大幅に増加している。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	コロナ禍の制限のなかで、幅広い世代に来館していただけるような自主事業を企画した。	あり
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	無線LANを導入したことにより、オンライン会議等を円滑にすることができるようになり、会館の利便性が向上した。また、大ホールの催しをオンラインで、なぎさライブは定期的にライブ配信することで、会館に来ることができない利用者にも視聴してもらうことができるようになった。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	コロナ禍に係る情報、自主事業のPRなどをホームページ、フェイスブック等の媒体で迅速かつ定期的に行っている。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	コロナ禍に対応した会館運営を継続していくとともに、中長期修繕計画に基づいた会館設備の更新を行うことで、利用者にとって安全・安心な会館を目指していく。
休止・廃止となったときの影響	

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	鑑賞と発表の両面から幅広い世代を対象に自主事業を行い、市民が文化芸術に触れる機会を提供する。 また、修繕計画に基づく計画的な施設の維持修繕と、市民ニーズに応じた機能の充実を図る。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201010005	事務事業名	文化財事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市域に存在する文化財を適正に管理・保存する。		
対象	市域に存在する有形・無形・民俗文化財及び記念物		
目的	市民がふるさと相生の歴史文化に理解と興味を深め、郷土への愛着を深める。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱 文化財保護法 兵庫県文化財保護条例 相生市文化財保護条例 相生市文化財保護条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.28	0.08	0.0	0.0
会計年度任用職員数			0.24	0.5	0.0	0.0
人件費計			2,238,207	1,344,328	0	0
事業費計			1,665,405	1,915,000	0	0
フルコスト			3,903,612	3,259,328	0	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
フルコストー特定財源			3,903,612	3,259,328	0	0
事業費計ー特定財源			1,665,405	1,915,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】市指定文化財の登録数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値				1	1	1
単年度実績値						
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	【質】市指定文化財の登録に掛かるコスト					
単位	円/1件					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値				3,259,328	0	0
単年度実績値						

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市域に存する貴重な文化財を市民共通の財産として適切に保存し後世に引き継ぐことは不可欠である。	あり
有効性	B: 比較的有効である	計画的に市指定文化財を行うことは適切な文化財保護につながる。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	現在は、最小限のコストで事業を行っているため、事業の充実に向けコスト拡大は不可欠である。	あり
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	学芸員の採用により、目標達成への効率が高まる。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	市指定文化財の登録にあたり報告書等を作成することで、文化財の歴史的価値が再認識される。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	A: 拡大
所見	特別展や歴史講座を開催し、市民がふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。
休止・廃止となったときの影響	

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	A: 拡大
所見	学芸員の専門知識を活かし、市内に残された豊かな歴史文化遺産の適切な整理・保存・活用、市指定文化財の登録に取り組む。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201010006	事務事業名	資料館管理事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	相生の歴史、美術・文芸作品等に関する貴重な資料の収集、保存、展示を行う。		
対象	市民		
目的	ふるさと相生の歴史文化に理解と興味を深め、郷土への愛着を育む。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	条例・規則・要綱		
	相生市歴史民俗資料館条例 相生市歴史民俗資料館条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.85	0.1	0.0	0.0
会計年度任用職員数			0.5	1.0	0.0	0.0
人件費計			6,472,681	2,229,664	0	0
事業費計			3,139,400	10,219,000	0	0
フルコスト			9,612,081	12,448,664	0	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	5,000,000	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
フルコストー特定財源			9,612,081	7,448,664	0	0
事業費計ー特定財源			3,139,400	5,219,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】歴史講座及び史跡めぐりの述べ参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	500	500	500	500	500	500
単年度実績値	432	349	264			
前年比	-	80.78%	75.64%	-	-	-
単年度達成率	86.4%	69.8%	52.8%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	【質】歴史講座及び史跡めぐりの参加者に係るコスト					
単位	円/1人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	5,156.448	6,055.394	19,224.162	24,897.328	0	0
単年度実績値	5,968.1111	8,675.3496	36,409.3977			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	貴重な資料等を適正に保存・活用していくこと、市民に郷土の歴史・文化・民俗に理解を深めてもらう活動は市の責務である。	あり
有効性	A: 有効性が高い	郷土資料を市民共通の財産として後世に引き継ぐ事は必要不可欠である。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	資料館活性化サポート事業により特別展、資料の収集・公開を行い、業務の効率化を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	学芸員の採用により、より専門的で充実した事業を展開する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	歴史講座、特別展をとおして郷土の史跡・文化財の啓発を行う。	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	A: 拡大
所見	施設の計画的な維持修繕を行うとともに展示資料の適切な保存ができる環境を整えることで、郷土の歴史文化の啓発の充実を図る。
休止・廃止となったときの影響	

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	施設の計画的な維持修繕を行うとともに、相生市の歴史・美術・文芸作品等に関する資料の収集、展示に努める。



# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201010007	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	文化芸術の振興を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。		
対象	市民		
目的	各種目競技の普及推進、奨励を促す。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱		
	相生市スポーツ顕彰に関する要綱		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.26	0.26	0.26	0.26
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			1,764,504	1,988,968	1,988,968	1,988,968
事業費計			0	0	188,000	188,000
フルコスト			1,764,504	1,988,968	2,176,968	2,176,968

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
フルコストー特定財源			1,764,504	1,988,968	2,176,968	2,176,968
事業費計ー特定財源			0	0	188,000	188,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】スポーツ顕彰受賞者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	58	58	58	58	58	58
単年度実績値	30	9	24			
前年比	-	30%	266.66%	-	-	-
単年度達成率	51.72%	15.51%	41.37%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	スポーツ顕彰受賞者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	1,820.6897	296.5517	30,422.4828	34,292.5517	37,533.931	37,533.931
単年度実績値	3,520	1,911.1111	73,521			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	各種目スポーツにおいて、成績の結果を顕彰することにより、受賞者にとって励みとなり今後の活躍に期待できる。	あり
有効性	A: 有効性が高い	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行している。	あり
効率性	A: 効率性が高い	要綱に基づき、有識者の意見を聞きながら適正に運用できている。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	対象者を的確に把握することが求められる。	あり
透明性	A: 透明性が高い	定期的に各種スポーツ団体に対し該当者の照会を行っており、透明性が高い。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	功績に相応した顕彰を贈呈していく。
休止・廃止となったときの影響	競技スポーツに取り組む人の努力にこたえる場がなくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	功績に相応した顕彰を贈呈していく。 競技スポーツに取り組む人の努力にこたえる場がなくなる。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201020001	事務事業名	人権啓発事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	人権啓発活動を推進する
部名	教育委員会	課名	人権教育推進室
事業の開始	平成21年度	終了年度	なし
実施の概要	市民人権学習、人権の集いの実施、啓発紙「ひとみ」の発行などを実施する。		
対象	すべての市民		
目的	市民一人ひとりが人権意識を高め、人権問題に対する正しい理解と認識を深める。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画,人権施策協働推進ガイドライン		
根拠法令	法律・政令・省令 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律／人権教育・啓発の推進に関する基本計画		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.85	0.65	0.0	0.0
会計年度任用職員数			0.9	0.9	0.0	0.0
人件費計			7,035,968	6,290,629	0	0
事業費計			4,904,251	6,507,000	0	0
フルコスト			11,940,219	12,797,629	0	0

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			162,000	542,000	0	0
市債			0	0	0	0
その他			0	0	0	0
フルコストー特定財源			11,778,219	12,255,629	0	0
事業費計ー特定財源			4,742,251	5,965,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民人権学習会への参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値				2,100	2,300	2,500
単年度実績値	3,803	1,281	1,867			
前年比	-	33.68%	145.74%	-	-	-
単年度達成率	-	-	-	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値				6,094.109	0	0
単年度実績値	2,045.2824	3,036.7908	6,395.4039			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	人権問題の解決に向け、市民の人権意識の高揚を図る事業を実施することは行政の責務である。また、社会的ニーズに応えるためにも、人権に関する有益な情報を提供し、市民の人権に対する関心を高めていくことが求められる。	なし
有効性	B: 比較的有効である	新たな人権問題や市民にとって身近な人権問題など、ニーズや社会状況に沿った啓発紙を作成し、市民に人権の学びの機会として認識が広がるなど成果を上げている。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	庁内連携を推進し、事業のPRやスタッフの協働を図ることで、事業実施に向けて効率性を高めることができた。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	市民の人権意識を高めることにより、地域のつながりを大切にし、安全・安心な暮らし、住みやすいまちづくりにつながっている。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	市民人権学習会において、各種団体に呼びかけることで、参加者の年齢層や所属などに広がりが見られる。また、啓発紙を全戸配布することで、広く市民に対して、人権を学ぶ機会を提供できている。啓発紙「ひとみ」の作成をした。(年4回)啓発紙「澄んだ瞳」を作成した。(年2回)	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	新型コロナウイルス感染症の影響で、参加団体・参加人数ともに、令和2年度は、急激に減少した。令和3年度は、徐々に戻りつつあった年であり、令和4年度は、より一層事業の充実を図り、市民の人権意識の醸成に努めたい。
休止・廃止となったときの影響	休止・廃止となった場合、市民の人権意識の荒廃と地域の絆が薄まることが危惧される。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	人権問題が多様化・複雑化する中で、新たな人権問題や身近な人権問題について市民が学ぶ機会を提供することは行政の責務であり、今後も関係課室と連携し、啓発活動を推進していく。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201030003	事務事業名	公民館活動事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	社会教育施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する		
対象	市民		
目的			
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.18	0.18	0.0	0.0
会計年度任用職員数			6.68	6.7	0.0	0.0
人件費計			10,628,476	11,190,312	0	0
事業費計			4,888,433	5,083,000	0	0
フルコスト			15,516,909	16,273,312	0	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			0	0	0	0
フルコストー特定財源			15,516,909	16,273,312	0	0
事業費計ー特定財源			4,888,433	5,083,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	定期講座、随時講座参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			8,000	8,000		
単年度実績値			8,420			
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	105.25%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	参加者一人当たりコスト					
単位	事業費÷参加者数(定期+随時講座)					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			1,939.6136	2,034.164		
単年度実績値			1,842.8633			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	青少年の健全育成、高齢者の社会参加を促進することや生涯学習を支援する	なし
有効性	A: 有効性が高い	市民のニーズに対応した講座を開催し、市民の生涯学習を支援する	なし
効率性	A: 効率性が高い	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	年1回募集の定期講座のほか随時講座を行い、少しでも受講者が希望の内容の講座を受けられるよう務めている	なし
透明性	A: 透明性が高い	広報あいおい、チラシ、館内掲示等で情報提供を行っている	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	地域に対し公民館が募集している講座等をPRし、住民の文化活動を支えていく。
休止・廃止となったときの影響	地域住民の文化活動に支障が出る

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	地域における学習活動の拠点として、市民のライフステージやニーズに応じた事業を行う。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201030005	事務事業名	多目的研修センター活動事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	社会教育類似施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する		
対象	市民		
目的	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的を持った自主グループの活動の場の提供、地域学習の生涯学習、コミュニティ活動の場とする		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.09	0.09	0.0	0.0
会計年度任用職員数			1.34	1.34	0.0	0.0
人件費計			2,497,802	2,651,155	0	0
事業費計			835,850	877,000	0	0
フルコスト			3,333,652	3,528,155	0	0

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			0	0	0	0
フルコストー特定財源			3,333,652	3,528,155	0	0
事業費計ー特定財源			835,850	877,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	定期、随時講座参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			1,200	1,200		
単年度実績値			1,323			
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	110.25%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			2,778.0433	2,940.1292		
単年度実績値			2,519.7672			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	地域住民の文化活動に貢献することに妥当性がある	なし
有効性	A: 有効性が高い	地域住民のニーズに合わせた講座を開催するよう努めている	なし
効率性	B: 比較的効率的である	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	なし
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	年1回募集の定期講座に加え随時講座を実施し市民が関心のある講座に少しでも参加できるよう努めている	なし
透明性	A: 透明性が高い	広報あいおいやチラシ、館内掲示等の情報提供を行っている	あり

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	地域住民の文化的な活動を支援するため拡大していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	地域住民の文化活動に支障がある

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	地域における学習活動の拠点として、市民のライフステージやニーズに応じた事業を行う。



# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201030006	事務事業名	図書館運営管理事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	図書館への関心を高め、読書への理解を深めるとともに、館の適切な管理運営を行う		
対象	市民		
目的	市民の社会教育と文化の発展を図る		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令・条例・規則・要綱		
	社会教育法、図書館法、相生市立図書館条例・同条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.26	0.21	0.0	0.0
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			1,764,504	1,606,474	0	0
事業費計			69,293,996	70,695,000	0	0
フルコスト			71,058,500	72,301,474	0	0

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	1,000,000	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		0	0	0	0
フルコストー特定財源			71,058,500	71,301,474	0	0
事業費計ー特定財源			69,293,996	69,695,000	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	年間利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			35,000	35,000		
単年度実績値			32,997			
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	94.27%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	利用者一人当たり開館コスト					
単位	図書館管理運営事業費÷(貸出利用者数+会議室等利用者数)					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			2,030.2429	2,065.7564		
単年度実績値			2,153.4837			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	市民の生涯学習を支える	なし
有効性	A: 有効性が高い	市民のニーズに合わせた所蔵リクエスト制度等がある	なし
効率性	B: 比較的効率的である	事業を指定管理者が行っている	あり
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	指定管理者がサービス向上に向けて実施事業の整理を行っている	なし
透明性	A: 透明性が高い	広報あいおい、図書館だより、HPなどで情報発信を行っている	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	安心して読書活動ができる環境の維持に努める。
休止・廃止となったときの影響	市民の文化活動に支障がでる

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市立図書館としての役割を基本とし、指定管理制度による民間企業のノウハウを活かしたサービスの提供を行うとともに、適切な維持管理を行い、安心して読書活動ができる環境の維持に努める。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201030007	事務事業名	高齢者教育事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	生涯学習環境をつくる
部名	教育委員会	課名	生涯学習課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	午前中に教養講座、午後に専門講座(歴史・園芸・保健体育)を年10回実施している。また、年2回公開講座として、一般の方も参加可能な講座を実施している。		
対象	満60歳以上の市民		
目的	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいを持って自立した生活がおくれる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.22	0.22	0.22	0.22
会計年度任用職員数			0.4	0.44	0.4	0.4
人件費計			2,056,329	2,327,429	2,268,842	2,268,842
事業費計			1,199,142	1,303,000	1,303,000	1,303,000
フルコスト			3,255,471	3,630,429	3,571,842	3,571,842

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			877,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000
フルコスト-特定財源			2,378,471	2,327,429	2,268,842	2,268,842
事業費計-特定財源			322,142	0	0	0

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】自治会開催数					
単位	回数					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			10	10	10	10
単年度実績値			7			
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	70%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1						
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			325,547.1	363,042.9	357,184.2	357,184.2
単年度実績値			465,067.2857			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	高齢化率の高い本市において、ニーズが非常に高いため、地域社会での高齢者の活躍の場の充実を図る。	なし
有効性	B: 比較的有効である	高齢者が気軽に集い、参加しやすい学習活動の場や機会をつくり、積極的な地域社会活動への参加を促す。	なし
効率性	A: 効率性が高い	講座後に謝礼を現金で渡していたが、一律口座振込による事務の簡素化を実施した。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	令和2年度は、新型コロナウイルス感染対策により中止したが、高齢者の活躍・交流の場の充実を図るために定員を設けて実施した。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	広報折込チラシで生徒を募集している。また、年2回誰でも参加できる公開講座を実施している。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	高齢者の多様な学習活動、スポーツ、レクリエーション活動などの充実を図る。
休止・廃止となったときの影響	廃止になった場合、高齢者が学ぶ機会を失う。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	新たな学びの機会を通じて自己を高めるだけでなく、地域社会の一員として豊かな知識や経験を活かせるような取り組みが必要。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201040001	事務事業名	市民体育館管理運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。		
対象	市民、市民体育館利用者		
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市民体育館条例 相生市民体育館条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.34	0.34	0.34	0.34
会計年度任用職員数			0.11	0.11	0.11	0.11
人件費計			2,462,332	2,762,072	2,762,072	2,762,072
事業費計			15,868,965	19,080,000	19,080,000	19,080,000
フルコスト			18,331,297	21,842,072	21,842,072	21,842,072

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	7,300,000	7,300,000	7,300,000
その他			2,180,373	2,368,000	2,368,000	2,368,000
フルコストー特定財源			16,150,924	12,174,072	12,174,072	12,174,072
事業費計ー特定財源			13,688,592	9,412,000	9,412,000	9,412,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民体育館利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	113,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
単年度実績値	95,646	53,209	68,259			
前年比	-	55.63%	128.28%	-	-	-
単年度達成率	84.64%	53.2%	68.25%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	市民体育館利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	85.1493	190.6833	183.313	218.4207	218.4207	218.4207
単年度実績値	100.5987	358.3666	268.555			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れている。	あり
有効性	B: 比較的有效である	新型コロナウイルス禍で休館や利用の制限を行ったが、競技場をはじめとする各室の利用が微増となった。	あり
効率性	A: 効率性が高い	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託し、執行体制は効果的である。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
B

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。 代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201040002	事務事業名	市民プール管理運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	指定管理者制度により民間事業者による、市民プール維持管理運営業務を行う。		
対象	市民、市民プール利用者		
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行う。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立市民プール条例 相生市立市民プール条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.08	0.08	0.08	0.08
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			542,924	611,990	611,990	611,990
事業費計			6,200,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000
フルコスト			6,742,924	7,111,990	7,111,990	7,111,990

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			0	0	0	0
フルコストー特定財源			6,742,924	7,111,990	7,111,990	7,111,990
事業費計ー特定財源			6,200,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民プール利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	4,000	3,400	3,400	3,400	3,400	3,400
単年度実績値	3,312	1,631	1,897			
前年比	-	49.24%	116.3%	-	-	-
単年度達成率	82.8%	47.97%	55.79%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	市民プール利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	1,538.05	1,911.5294	1,983.2129	2,091.7618	2,091.7618	2,091.7618
単年度実績値	1,857.5483	3,984.7946	3,554.5198			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	新型コロナウイルス禍により学校授業としての利用はできなかったが、一般利用者は快適に利用することができた。	あり
有効性	B: 比較的有効である	指定管理者制度を導入することにより、利用者にとって魅力のある管理運営が図られている。	あり
効率性	A: 効率性が高い	指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、開場情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
B

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	指定管理者と連携を取りながら今後も適正管理に努めていく。
休止・廃止となったときの影響	学校授業としての利用ができなくなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。 学校授業としての利用ができなくなる。



# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201040003	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民グラウンドの管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。		
対象	市民、市民グラウンド利用者		
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、スポーツの場を提供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市民グラウンド条例 相生市民グラウンド条例施行規則		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.36	0.36	0.36	0.36
会計年度任用職員数			0.07	0.07	0.07	0.07
人件費計			2,541,735	2,856,482	2,856,482	2,856,482
事業費計			3,896,321	9,579,000	9,579,000	9,579,000
フルコスト			6,438,056	12,435,482	12,435,482	12,435,482

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源						
国庫支出金			0	0	0	0
県支出金			0	0	0	0
市債			0	0	0	0
その他			509,437	400,000	400,000	400,000
フルコストー特定財源			5,928,619	12,035,482	12,035,482	12,035,482
事業費計ー特定財源			3,386,884	9,179,000	9,179,000	9,179,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】市民グラウンド利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
単年度実績値	13,777	11,535	15,917			
前年比	-	83.72%	137.98%	-	-	-
単年度達成率	76.53%	64.08%	88.42%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	市民グラウンド利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	987.6441	484.0057	357.6698	690.8601	690.8601	690.8601
単年度実績値	1,290.3821	755.2754	404.4767			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れている。	あり
有効性	B: 比較的有効である	屋外型施設のため、天候により利用件数等が大きく左右される。新型コロナウイルス禍で休場や利用の制限を行ったが、利用者数は持ち直しつつある。	あり
効率性	A: 効率性が高い	施設の老朽による軽微な不具合は発生しているが、早期発見対応により効果的に最小限の費用で対応できている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
B

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。 代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201040004	事務事業名	温水プール管理運営事業		
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		
部名	教育委員会	課名	体育振興課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	指定管理者制度により民間事業者による、温水プール維持管理運営業務を行う。				
対象	市民、温水プール利用者				
目的	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立温水プールの設置及び管理に関する条例 相生市立温水プールの設置及び管理に関する条例施行規則				

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.3	0.3	0.3	0.3
会計年度任用職員数			0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計			2,035,966	2,294,963	2,294,963	2,294,963
事業費計			30,651,099	57,327,000	57,327,000	57,327,000
フルコスト			32,687,065	59,621,963	59,621,963	59,621,963

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他			514,800	514,000	514,000
フルコストー特定財源			32,172,265	59,107,963	59,107,963	59,107,963
事業費計ー特定財源			30,136,299	56,813,000	56,813,000	56,813,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質】温水プール利用状況					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	150,000	153,000	100,000	150,000	150,000	150,000
単年度実績値	150,635	101,074	98,854			
前年比	-	67.09%	97.8%	-	-	-
単年度達成率	100.42%	66.06%	98.85%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	温水プール利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	153.0091	280.5994	326.8707	397.4798	397.4798	397.4798
単年度実績値	152.3641	424.7552	330.66			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	新型コロナウイルス禍により利用人員は大きく減少したが、利用者は快適に利用することができた。	あり
有効性	B: 比較的有効である	指定管理者制度を導入することにより、利用者にとって魅力のある管理運営が図られている。	あり
効率性	A: 効率性が高い	指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	あまり事業改革は達成できていない。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、イベント情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
B

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。
休止・廃止となったときの影響	代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。 代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201040006	事務事業名	社会体育振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21ひょうごの推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。		
対象	市民		
目的	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.65	0.65	0.65	0.65
会計年度任用職員数			0.11	0.11	0.11	0.11
人件費計			4,566,164	5,133,534	5,133,534	5,133,534
事業費計			1,744,841	2,431,000	2,431,000	2,431,000
フルコスト			6,311,005	7,564,534	7,564,534	7,564,534

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他			319,000	225,000	225,000
フルコストー特定財源			5,992,005	7,339,534	7,339,534	7,339,534
事業費計ー特定財源			1,425,841	2,206,000	2,206,000	2,206,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】市民体育大会等実施数					
単位	種目					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	22	19	19	19	19	19
単年度実績値	21	12	15			
前年比	-	57.14%	125%	-	-	-
単年度達成率	95.45%	63.15%	78.94%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	市民体育大会等1種目あたりのフルコスト					
単位	円/種目					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	99,494.7727	93,857.3684	332,158.1579	398,133.3684	398,133.3684	398,133.3684
単年度実績値	104,232.619	148,607.5	420,733.6667			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	スポーツ種目を幅広く網羅し、事業を実施できている。 全国大会等出場選手を激励することにより、今後の選手の活躍および競技種目の発展に期待できる。	あり
有効性	B: 比較的有効である	各制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようにしつつコスト削減に努める。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	各団体の自主的な運営が進むよう、情報共有をはじめとした連携が必要である。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。
休止・廃止となったときの影響	事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。 事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201040007	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業		
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり		
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		
部名	教育委員会	課名	体育振興課		
事業の開始		終了年度	なし		
実施の概要	小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。				
対象	市民(ジュニア層)				
目的	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。				
事務事業類型	ソフト事業				
関連計画					
根拠法令					

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.63	0.63	0.63	0.63
会計年度任用職員数			0.13	0.13	0.13	0.13
人件費計			4,458,598	5,009,830	5,009,830	5,009,830
事業費計			538,740	1,630,000	1,630,000	1,630,000
フルコスト			4,997,338	6,639,830	6,639,830	6,639,830

### (2) 歳入

単位:人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他			319,000	330,000	330,000
フルコスト-特定財源			4,678,338	6,309,830	6,309,830	6,309,830
事業費計-特定財源			219,740	1,300,000	1,300,000	1,300,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】ジュニアスポーツ振興事業数					
単位	事業					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	13	13	14	14	14	14
単年度実績値	13	7	6			
前年比	-	53.84%	85.71%	-	-	-
単年度達成率	100%	53.84%	42.85%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	ジュニアスポーツ振興事業1事業あたりのフルコスト					
単位	円/事業					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	106,153.8462	30,000	356,952.7143	474,273.5714	474,273.5714	474,273.5714
単年度実績値	106,153.8462	55,714.2857	832,889.6667			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	新型コロナウイルス禍の中でも可能な範囲でジュニア対象の事業を実施し、体力向上の機会を提供できている。	あり
有効性	B: 比較的有効である	大会や教室への参加により、競技力の向上が図られている。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	児童、生徒数の減少もあり、それに見合ったコスト削減が図られている。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	少子化と種目の多様化により、参加人数に影響がでているため、関係団体との連携、調整により日程や事業内容を検討する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。
休止・廃止となったときの影響	事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。 事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。



# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201040008	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民誰もが暮らしの中での体力づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。		
対象	市民		
目的	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.77	0.77	0.77	0.77
会計年度任用職員数			0.21	0.21	0.21	0.21
人件費計			5,521,373	6,197,987	6,197,987	6,197,987
事業費計			2,411,164	3,470,000	3,470,000	3,470,000
フルコスト			7,932,537	9,667,987	9,667,987	9,667,987

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		319,000	465,000	465,000	465,000
フルコストー特定財源			7,613,537	9,202,987	9,202,987	9,202,987
事業費計ー特定財源			2,092,164	3,005,000	3,005,000	3,005,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【量】レクリエーションスポーツ振興事業数					
単位	事業					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	20	20	20	20	20	20
単年度実績値	19	14	15			
前年比	-	73.68%	107.14%	-	-	-
単年度達成率	95%	70%	75%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	レクリエーションスポーツ振興事業1事業あたりのフルコスト					
単位						
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値	192,228.9	104,574.7	396,626.85	483,399.35	483,399.35	483,399.35
単年度実績値	202,346.2105	149,392.4286	528,835.8			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	レクリエーションスポーツへの興味や参加意識が強く、参加数は安定している。	あり
有効性	B: 比較的有効である	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、スポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	市民ニーズや流行を把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	高齢化社会に対応すべく、目標達成のため事業内容と運営方法について関係団体と検討する。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙により、事業情報等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。
休止・廃止となったときの影響	事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。 事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。

# 事務事業評価シート

年度

3

## 1. 基本情報

事業番号	010201040009	事務事業名	スポーツ教室事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	誰もが楽しく学べるまちづくり
基本施策	社会教育環境の充実	取り組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る
部名	教育委員会	課名	体育振興課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供する。		
対象	市民		
目的	初心者を対象としたスポーツ教室を開催することで、スポーツに関心をもってもらい、基礎的な知識と技術の習得および健康増進につなげる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令	法律・政令・省令		
	スポーツ基本法		

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
正規職員数			0.06	0.06	0.06	0.06
会計年度任用職員数			0.12	0.12	0.12	0.12
人件費計			576,179	634,753	634,753	634,753
事業費計			817,290	872,000	872,000	872,000
フルコスト			1,393,469	1,506,753	1,506,753	1,506,753

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度	令和6年度
特定財源	国庫支出金		0	0	0	0
	県支出金		0	0	0	0
	市債		0	0	0	0
	その他		570,000	750,000	750,000	750,000
フルコストー特定財源		823,469	756,753	756,753	756,753	756,753
事業費計ー特定財源		247,290	122,000	122,000	122,000	122,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	【質・量】スポーツ教室参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			280	280	280	280
単年度実績値			239			
前年比	-	-	-	-	-	-
単年度達成率	-	-	85.35%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	スポーツ教室参加者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
単年度計画値			4,976.675	5,381.2607	5,381.2607	5,381.2607
単年度実績値			5,830.4142			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	スポーツ教室は健康を維持し、生涯にわたりスポーツを楽しむという面からも有意義である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	新型コロナウイルス禍で参加者離れが顕著であるが、参加者数は昨年度より増加し、6教室を開講することができた。 有料であるため出席率は比較的高いが、教室の実施内容によっては、参加者増加にまだ向上の余地がある。	あり
効率性	A: 効率性が高い	各教室とも開催時期は4～7月、9～12月、1～3月の3期、開催回数は1期あたり10回、開催時間は1回あたり90分と、教室の開催時期や回数、時間ともに最適である。	なし
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	これまで参加することができなかった働き世代に向け、受講しやすい夜間帯に新規教室を開設した。 開設に伴い、新たな指導者の確保に苦慮した。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ホームページや広報紙への掲載、幼稚園等へのチラシ配布により、広く教室開催等の情報提供を行っている。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人との触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる機会が生まれる。
休止・廃止となったときの影響	類似の教室がないため、スポーツの場を提供できなくなり、スポーツに自発的に参画する機会が失われ、心身の健康増進等の妨げとなる。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	当事業は費用対効果に優れた事業である。 スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。